

| レース名 | 日付 | クラス | 場所 | コース | 展開 | 想定馬場 | ポイント |
|-----------|----------|------|----|-------|-------|------|------|
| フジノウェーブ記念 | 2019/3/6 | SIII | 大井 | 1400m | ハイペース | 稍重 | 展開 |

| 枠 | 馬番 | 馬名 | 性齢 | 斤量 | 騎手 | 父 | 父系統 | 母父 | 母父系統 | 能力 | 騎手 | 適性 | 展開 | 総合評価 | 期待値 | 印 | 結果 |
|---|----|-----------|-----|----|-----|---------------|-------|-------------|----------|----|----|----|----|------|-----|----|----|
| 1 | 1 | トーセンデューク | 牡8 | 58 | 村上 | ディーブインパクト | サンデー系 | Fairy King | ノーザン系 | B | B | D | D | C | C | | |
| | 2 | キャンドルグラス | 牡5 | 57 | 御神本 | サウスヴィグラス | ミスプロ系 | サンデーサイレンス | サンデー系 | A | B | C | C | B | C | | |
| 2 | 3 | ブルージェット | 牝5 | 55 | 町田 | ペーカバド | ノーザン系 | コロナドズクエスト | ノーザン系 | C | B | B | B | B | B | △2 | |
| | 4 | マッチレスヒーロー | 牡8 | 57 | 的場文 | オレハマッテルゼ | サンデー系 | チーフベアハート | ノーザン系 | C | C | B | B | C | B | ×3 | |
| 3 | 5 | バルダッサレ | 牡6 | 57 | 笹川 | アンライバルド | サンデー系 | フジキセキ | サンデー系 | B | B | B | B | B | B | ×1 | |
| | 6 | ショコラブラン | 牡7 | 57 | 森 | クロフネ | ノーザン系 | サンデーサイレンス | サンデー系 | B | A | C | B | B | B | ×2 | |
| 4 | 7 | アルタイトル | 牡7 | 57 | 和田 | カネヒキリ | サンデー系 | Grand Slam | ミスプロ系 | A | C | B | B | B | A | ◎ | |
| | 8 | リコーワルサー | 牡4 | 57 | 真島 | ブラックタイド | サンデー系 | デヒア | ノーザン系 | A | B | A | B | A | B | ○ | |
| 5 | 9 | ゴードー | 牡11 | 57 | 赤嶺 | プレシヤスカフェ | ノーザン系 | コノミテイオー | ザテトラーク系 | D | D | D | D | D | D | | |
| | 10 | ノブワイルド | 牡7 | 59 | 左海 | ヴァーミリアン | ミスプロ系 | アンバーシャダイ | ノーザン系 | B | B | D | D | C | C | | |
| 6 | 11 | クリスタルシルバー | 牡4 | 58 | 矢野 | サムライハート | サンデー系 | アジュディケーティング | ノーザン系 | A | A | B | B | A | B | ▲ | |
| | 12 | トロヴァオ | 牡6 | 57 | 吉原 | カネヒキリ | サンデー系 | Cox's Ridge | ターントウ系 | B | A | B | B | B | B | △1 | |
| 7 | 13 | クルセイズスピリツ | 牡4 | 57 | 西 | サウスヴィグラス | ミスプロ系 | バルブガムフェロー | サンデー系 | C | C | D | D | C | C | | |
| | 14 | キャプテンキング | 牡5 | 58 | 坂井 | ファスリエフ | ノーザン系 | ブライアンスタイム | ロベルト系 | A | C | C | C | B | C | △3 | |
| 8 | 15 | オメガヴェンデッタ | セ8 | 57 | 今野 | ゼンノロブロイ | サンデー系 | ホワイトマズル | ノーザン系 | B | C | B | C | B | C | | |
| | 16 | ヨンカー | セ6 | 55 | 石崎駿 | Exchange Rate | ノーザン系 | Put it Back | インリアリティ系 | C | C | D | D | D | D | | |

| 隊列図 | 見解 | ラップタイム |
|--|---|--------|
| ノブワ ヨンカ クルセ オメガ キャン キャブ ゴーデ クリス リコー ブルー トロヴ アルタ トーセ ショコ マッチ バルダ | <p>今年のフジノウェーブ記念のカギを握るのは展開だろう。逃げるのはノブワイルド。JBCスプリントでもJRA勢と互角のスピードを見せた馬。そのJBCスプリントで逃げられなかった分、今回は逃げに拘った競馬をしてくるはず。鞍上は左海騎手。十中八九で逃げの手を打つでしょう。その外に被せるように快速ヨンカーが続き、クルセイズスピリツ、キャプテンキング、オメガヴェンデッタも早め早めの競馬。人気のキャンドルグラスも1枠2番なら前々で立ち回ってくるだろう。どう考えても激流必至のメンバー構成。ここは道中にしっかりと脚を溜められる差し、追い込み勢に分があるレースになりそうだ。それでは予想にいきましよう。</p> <p>本命はアルタイトルの末脚がさく裂すると見る。JRA時代は田中勝春騎手が主戦という可哀想だった馬。それでもJRAでオープン特別2勝、重賞で3着2回の実績を誇り、馬自身の潜在能力は高い。転入初戦の多摩川オープンはトキノパイレーツの2着に敗れたが、テン初戦としては悪くない走り。今回は中間の調教も動いており、状態はさらに上がっていると判断していいだろう。(以下省略)</p> | |
| ハイペース | | |

| 枠 | 馬番 | 馬名 | 印 | 評価 | 結果 | 回顧 |
|---|----|-----------|----|--|----|----|
| 1 | 1 | トーセンデューク | | 転入初戦の埼玉新聞栄冠賞を制したが、スローペースの逃げを打てたことが大きかった。今回は1400mでメンバー的に激流必至。苦戦必至だろう。 | | |
| | 2 | キャンドルグラス | | 昨年のフジノウェーブ記念では3番人気9着と大敗しており、1400mよりも1200mがベストの馬。距離延長がマイナスな上、今回はどう考えても展開が向かなそう。上位人気で嫌うとすれば、本馬だろう。 | | |
| 2 | 3 | ブルージェット | △2 | 大井1400mで【5.5.1.2】と抜群の安定感を誇っている馬。古馬になってからは【3.4.1.0】と複勝率100%をキープしている。前走アメジスト賞では勝ち馬リコーワルサーから0.3秒差の2着。リコーワルサーが勝ち負けするのであれば、本馬が2、3着に食い込んで来て不思議ではないだろう。 | | |
| | 4 | マッチレスヒーロー | ×3 | ショコラブラン以上にピークを過ぎた印象を受けるが、元JRAのオープン馬。アルタイルやショコラブランに印を打つ以上、本馬も押さるのが筋だろう。人気もないので無理に消す必要はない。 | | |
| 3 | 5 | バルダッサレ | ×1 | 展開を考えると面白そうな1頭。不器用な追い込み馬でハマリ待ちにはなるが、展開さえ向けば、重賞でも通用する力を持っている。人気落ちの今回が馬券的には狙い目なのではないか。 | | |
| | 6 | ショコラブラン | ×2 | ピークをやや過ぎた印象を受けるが、ダートグレードで好走歴があり、能力的には通用していい。調教もよく動いており、森騎手が本馬に乗るのもやや不気味な印象だ。 | | |
| 4 | 7 | アルタイル | ◎ | JRAでオープン特別2勝、重賞で3着2回の実績を誇り、馬自身の潜在能力は高い。転入初戦の多摩川オープンにはトキノパイレーツの2着に敗れたが、テン初戦としては悪くない走り。今回は中間の調教も動いており、状態はさらに上がっていると判断していいだろう。 | | |
| | 8 | リコーワルサー | ○ | 前走大井1400mのアメジスト賞を快勝。A2以下で相手こそ弱かったものの、14番ゲートから外々を回って押し切り、着差以上に強い内容だった。これで勝利を挙げたレースは、すべて1400~1500m。昨年のクラシックでは詰め甘さを見せていたが、本質的にこれくらいの距離が合っているのだろう。 | | |
| 5 | 9 | ゴードー | | 戦績を見てもピークを過ぎたのは明らか。ここは参加するだけだろう。 | | |
| | 10 | ノブワイルド | | 1400mの距離自体は問題ないものの、立ち回り力が生きる浦和コースでこそこのタイプ。大井外回りの1400mは合っていないだろう。同型もそろい、厳しい競馬になりそう。実績には一目置きつつも、積極的に買いつらい。 | | |
| 6 | 11 | クリスタルシルバー | ▲ | 2走前のマイルグランプリではヒガシウィルウィンを下して勝利しており、世代でもトップレベルの能力を持っている馬。前走勝島王冠は4番人気7着と大きく敗れたが、外々を回るロスが多い競馬で、道中に体力を消耗してしまった感じ。そこまで深刻に受け止めなくていいだろう。 | | |
| | 12 | トロヴァオ | △1 | 南関東で1~4枠【3.2.2.3】、5~8枠【0.0.0.7】と両極端な成績を残しており、内~中枠を引いて前に壁を作れた時が好走パターン。今回は6枠12番と外目の枠。本馬の好走パターンとはズレそうだが、前に行きたい馬が多く、上手く内に潜り込めれば、データを覆す可能性はありそう。 | | |
| 7 | 13 | クルセイズスピリツ | | 前走アメジスト賞ではリコーワルサー、ブルージェットに完敗。1400mは1ハロン長い。今回はさらなる相手強化。苦戦必至だろう。 | | |
| | 14 | キャプテンキング | △3 | 能力上位も、枠順、展開面で割引が必要。前走ゴールドカップは確かに強かったが、コース、展開ともにややハマった面がありそう。大井では勝ち切れないことが多く、前走の圧勝劇は鶏呑みにしない方がいいだろう。 | | |
| 8 | 15 | オメガヴェンデッタ | | 昨年のフジノウェーブ記念では2着に好走したが、マイペースの逃げを打てたことが大きかった。今年は同型多数で昨年の再現は見込めない。枠順、休み明けもマイナス。上位争いまでは難しいのでは。 | | |
| | 16 | ヨンカー | | 相手強化、距離延長、大外枠、同型多数とマイナスの要素がズラリとそろった。見せ場を作れても直線入り口で後続勢に飲み込まれているだろう。 | | |